

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	失業者就職活動資金利子補給事業	所管	市民経済部 商工労政課
			TEL 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	勤労者が失業した場合に、就職活動資金の貸付けを行い、失業者の就職促進を図る。なお、現在、既貸付者はいない。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	失業者(自己都合及び定年退職者を除く)	対象とした数	1,100	人
		実際に 利用した数	0	人

活動の 内容	(何を したか)	1. 融資を希望する利用者が市に申請をする。 2. 市は資格要件等の審査を行い、資格適格者と判断した場合には資格認定の通知をする。 3. 資格適格者は指定金融機関(中央労働金庫所沢支店)に融資の申込みをする。 4. 指定金融機関は、速やかに償還能力等の審査を行い、融資の可否を決定する。 5. 市は、指定金融機関に、利子補給金を交付する。また、市は、保証機関(埼玉県労働者信用基金協会)に、保証料を支払う。									
		活動 実績	項目 名	融資申請額	200	-----	項目 名		-----	項目 名	
				単位			単位				単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	331	4	474	1.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	融資実行額	新規に融資を決定又は実行した総額	400	0	*****
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	031100	TEL	2998-9155		
事業コード	失業者就職活動資金利子補給事業							
031133								
開始年度		平成	6	年度	—	終了年度	平成	年度
		グループ		労政担当				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市失業者就職活動資金貸付要綱、所沢市失業者就職活動資金貸付金保証料補助金交付要綱							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	6節 労働環境	中柱	2 勤労者福祉の推進	小柱	(2) 勤労者貸付制度の利便性の向上
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 16 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	企業の倒産、リストラに伴う人員整理等により、勤労者が失業した場合に、早期に再就職先を探し生活を安定させるために、導入された事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	勤労者が失業した場合に、就職活動資金の貸付けを行い、失業者の就職促進を図る。なお、現在、既貸付者はいない。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	失業者(自己都合及び定年退職者を除く)				資金の貸付実行を受けた人数				
	対象数	単位	平成 18 年度	1,300	人	利用数	単位	平成 18 年度	0
		平成 19 年度	1,100	人			平成 19 年度	0	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1. 融資を希望する利用者が市に申請をする。 2. 市は資格要件等の審査を行い、資格適格者と判断した場合には資格認定の通知をする。 3. 資格適格者は指定金融機関(中央労働金庫所沢支店)に融資の申込みをする。 4. 指定金融機関は、速やかに償還能力等の審査を行い、融資の可否を決定する。 5. 市は、指定金融機関に、利子補給金を交付する。また、市は、保証機関(埼玉県勤労者信用基金協会)に、保証料を支払う。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点 既貸付者は0人となった。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		355	331	330
	決算(見込み含む)		17	4	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費		0.03 人 276	0.05 人 470	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		293	474	
	財源内訳	一般財源	293	474	330
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)		0.9	1.4		
利用数一単位あたり(単位:円)		#DIV/0!	#DIV/0!		

⑥指標	項目名	融資申請額	計算方法	利用申請者が申請した額	単位		H 18	0	H 19	200	H20見込み	100	将来目標
	活動実績												
	成果分析	融資実行額	新規に融資を決定又は実行した総額	目標値	600	実績	0	達成率	****	****	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
		%	達成率	****	****								1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	現在、既貸付者はいないが、本事業によって失業者のセイフティネットとしての役割を持たせる必要がある。					
	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	失業者就職活動資金利子補給事業は、労働金庫の審査と関連するので、その利用方法及び審査方法について、労働金庫と協議をする。	達成水準(どこまで)	生活資金等に困っている失業者が本事業を利用しやすいようにしていく。	時期(いつまで)	今年度
平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	失業者に対して、他にセイフティネットになるべきものが少ないので、現状どおりとするものである。					
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和			

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日	評価理由						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2234
基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
主要課題	2仕事と子育ての両立の推進			
施策の方向	3就労環境改善へ向けた働きかけ			